

LMS上の双方向性の議論

講師の問いかけに対して、履修生が質問や意見を投稿し、インタラクティブな議論が可能となる

56

イト (20)

発言 (185) ページ: 1/4

タイトル	発言者	発言日
185. 学びという認識変容と知力	西城 卓也	2019 年 02 月 22 日
184. 最終課題です	角山 香織	2019 年 02 月 21 日
183. 続いて課題3	角山 香織	2019 年 02 月 21 日
182. 最終課題どころか...	角山 香織	2019 年 02 月 17 日
181. 最終課題 (山木)	山木 照子	2019 年 02 月 16 日

角山先生、クラスの皆様
お疲れ様でした。

生涯発達心理学においては、知力は二つあるという人もいます。ひとつは流動的知力、もうひとつは結晶的知力です。

前者は、記憶したり、瞬発的に学習したり、新場面への適応・応用力を要する学習に必要な能力です。後者は、後天的に獲得される語彙力や、教育と経験によって学びを形成したり、すでに獲得している知識を再統合する理解力などを加味した能力です。

指導者の教育の学びは後者に比重が多く、このフェローシップもそのようにデザインされています。

さらに、知識の再統合に関しては、メジローという人が変容学習という言葉で表現しています。意識を変容させ、意味ある認識を再構築するには10の局面があると指摘しています。そのうちのひとつが、「恥・怒り・罪悪感・あるいは恥辱感といった感情を伴う自己の従来への自己批判」であり、そのような感情は避けて通れないとしています。

自己の実践を、新たな理論・モデルと照らし合わせて振り返り、自己開示する作業は感情を揺さぶられる作業ですが、この作業自体が学びであるというパラダイムのもとで、このフェローシップはデザインされています。オンタイムで課題を出していただければ協働学習につながりますが、遅れたとしても究極的にはその方の認識が変容し、学びが結晶化（クリスタライゼーション）されれば、結果オーライです！

多くの新たな仲間とともに、意義ある学びを皆様方が得られたことを期待しています。

モジュール2ご参加いただき、ありがとうございました。

西城卓也

発言 URL: <http://www.medc.gifu-u.ac.jp/cgi-bin/WebObjects/medcClient2.woa/1/wa/viewCourseBoard?messageID=38518&uniqueID=OTA10TU0Nj150Tc1MTU5&>

185. 学びという認識変容と知力

引用発言 返信発言 新規発言

上の発言 下の発言

質問に対する講師からの回答

それに履修生Bさんが意見を述べる投稿

履修生Aさんの最初の質問投稿

外国人兼任講師によるグローバルな情報も視聴可能

初心者がエキスパートになるまで —正統的周辺参加と熟達化—

岐阜大学医学教育開発研究センター
西城卓也 MD, MHPE, PhD



Peer-assisted learning and teaching in the medical curriculum

Daisy Rotzoll, MD, PhD, MME
University of Leipzig, Medical Faculty, Dept. of Medical Education,
LernKlinik Leipzig, Germany



部教材_デイジー先生

e講義受講後のポストテストの一例

e講義のあとは、ポストテストを実施し、学習内容の定着を図る。
一定の正答率をクリアすることで履修確認をとるシステムを構築する。

各授業のミニテスト例

• ○×式

- () 「子供のころ自転車で転んだ」という記憶は、意味記憶である
- () 類似した出来事を繰り返し経験すると、エピソード記憶は増大する。
- () 手続き的記憶とは、どのように (how) についての記憶である

• 選択式

- () 「子供のころ自転車で転んだ」という記憶
- () 類似した出来事を繰り返し経験すると増大する記憶
- () どのように (how) についての記憶である

①エピソード記憶、②意味記憶、③手続き的記憶、④宣言的記憶